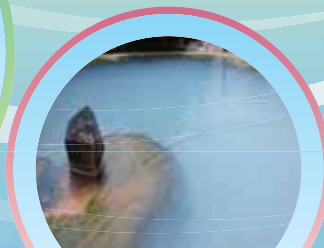


第26回

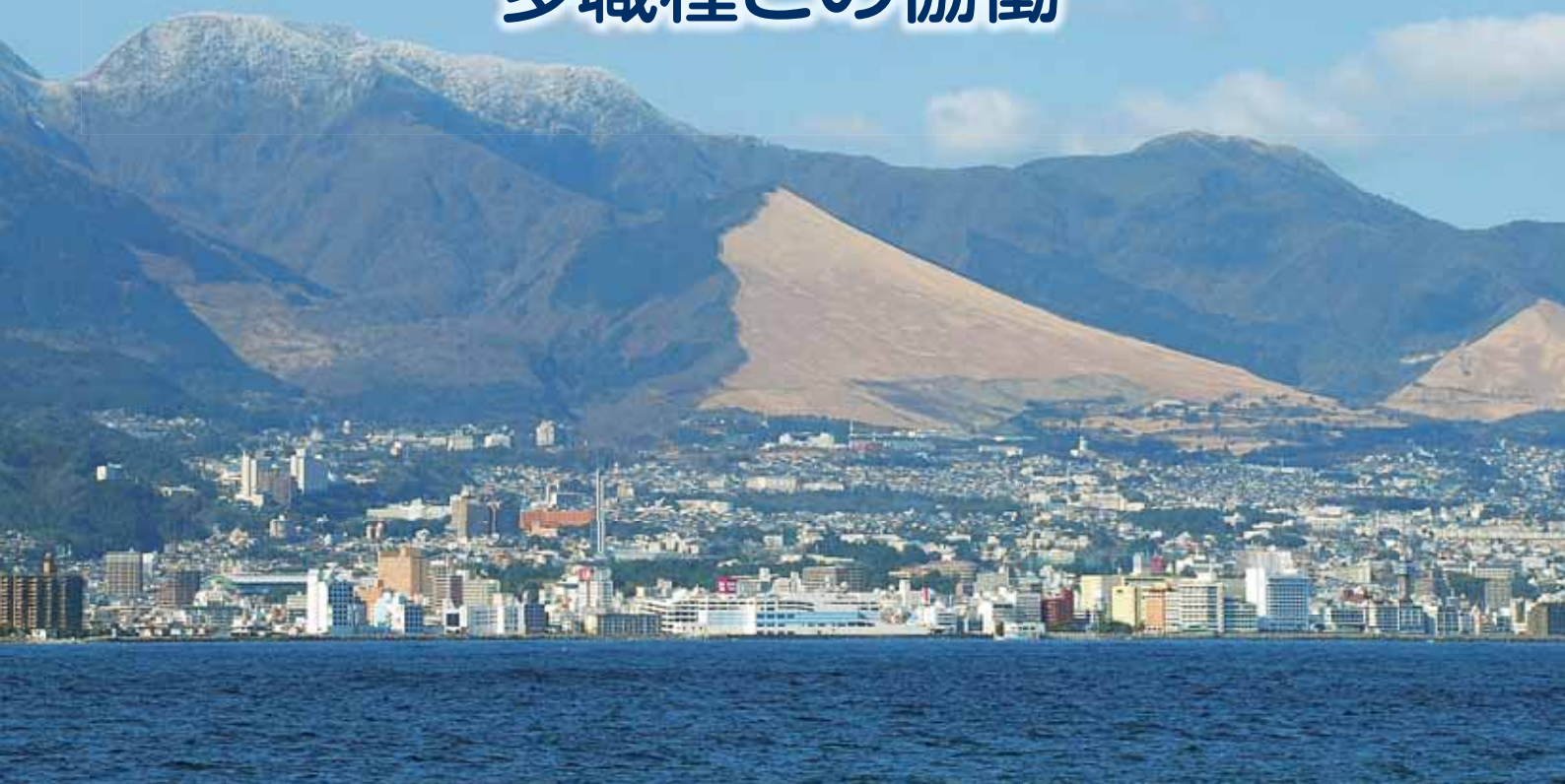
西日本臨床小児口腔外科学会 総会・学術大会

プログラム・抄録集

- 日時 2015年10月4日(日)
- 会場 別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザ
- 大会長 黒川 英雄 別府口腔保健センター
センター長
- 準備・実行委員長 小野 敬一郎 国立病院機構 別府医療センター
歯科口腔外科 部長
- 後援 別府市歯科医師会、大分県歯科衛生士会、
大分県言語聴覚士協会、大分県看護協会、
大分県栄養士会、別府市医師会、
別府市薬剤師会



小児口腔の成長・発育を支援する 多職種との協働



第26回

The 26th Annual Meeting of West-Japan Association of Clinical Pediatric
Oral and Maxillofacial Surgery

西日本臨床小児口腔外科学会 総会・学術大会

プログラム・抄録集

小児口腔の成長・発育を支援する 多職種との協働

- 日 時 2015年 10月4日(日)
- 会 場 別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザ
- 大会長 黒川 英雄 別府口腔保健センター センター長
- 準備・実行委員長
小野 敬一郎 国立病院機構 別府医療センター 歯科口腔外科 部長
- 後 援 別府市歯科医師会、大分県歯科衛生士会、大分県言語聴覚士協会、
大分県看護協会、大分県栄養士会、別府市医師会、別府市薬剤師会

INDEX

大会長 挨拶	1
理事長 挨拶	2
会場周辺地図	3
会場案内図	4
役員会のご案内	5
懇親会のご案内	5
参加者へのお知らせとお願い	6
プログラム	7
抄 録	
大会長講演	12
基調講演	13
特別講演	14
教育講演	15
ランチョン教育セミナー	16
シンポジウム	17
一般演題	22
広告・展示協賛企業名	27

会場周辺地図

駐車場

- A** ビーコンプラザ地下駐車場
普通車 60台(有料)
- B** ビーコンプラザ野口原駐車場
普通車 138台(有料)
- C** 別府公園東駐車場
普通車 366台(有料)

*有料駐車場は1時間100円です。
(最初の1時間は無料)

*混雑等が予想されます。
なるべく公共の交通機関をご利用
ください。



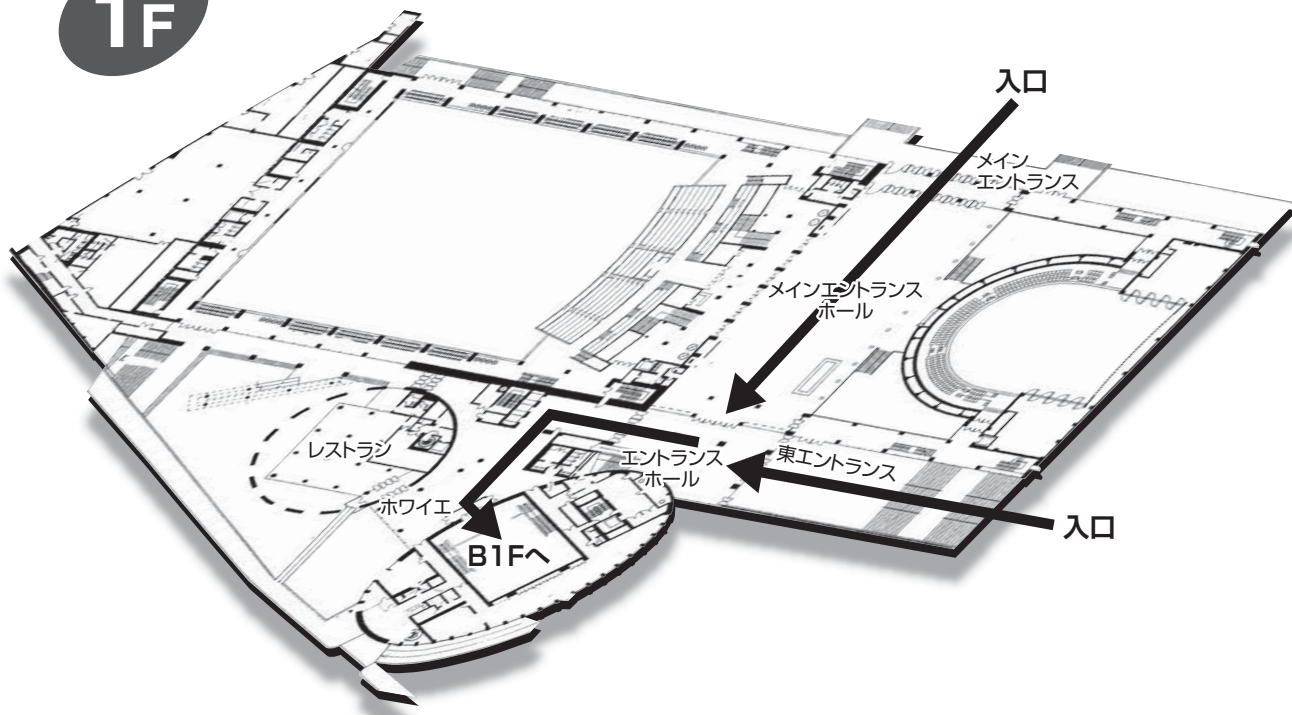
会場へのアクセス

車	大分自動車道 別府インターより約10分
電車	JR別府駅下車 徒歩約15分
飛行機	大分空港よりエアライナー(リムジンバス)で約35分 《エアライナー》片道 1,450円 往復 2,500円 大分交通(株) TEL:097-532-5151 別府北浜下車 タクシーで約10分
路線バス	次の各路線バスはビーコンプラザ前に停車。(番号は行先番号) ・別府駅西口発(所要時間約5分) 160円 3、8、33、34、36、37、41、43 ・別府駅前(東口)発(所要時間約15分) 220円 16、17 亀の井バス(株) TEL:0977-23-0141
船	別府国際観光港よりタクシーで約20分

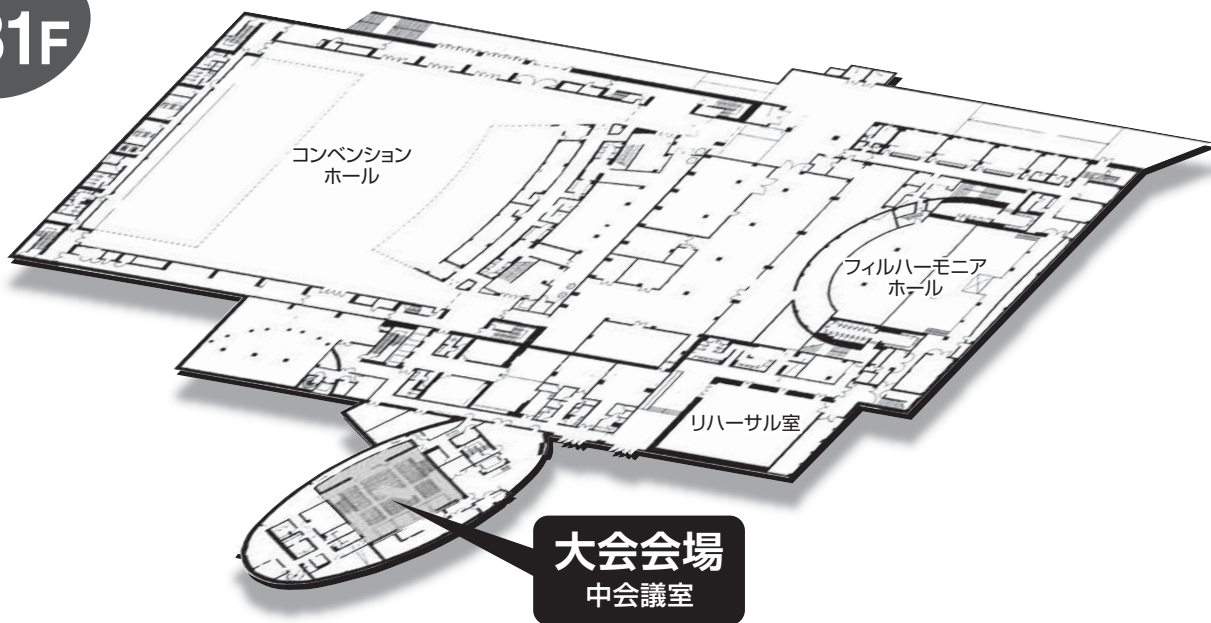
時刻表案内サイト: <http://www.visit-oita.jp/access/>

大分ビーコンプラザ

1F



B1F



プログラム

2015年10月4日(日)

8:40 総 会

9:10 開会の辞 準備委員長：小野 敬一郎
大会長挨拶 大 会 長：黒川 英雄

9:15 大会長講演

座長：中村 康典(独立行政法人鹿児島医療センター 歯科口腔外科部長)

「小児期における口腔アレルギー症候群について」

黒川 英雄(別府口腔保健センター長)

9:35 基調講演

座長：砂川 元(琉球大学 名誉教授)

「大分県における先天性疾患の疫学調査」

古賀 寛史(別府医療センター周産期副センター長、NICU 室長・小児科)

10:15 教育講演

座長：柳沢 繁孝(大分大学 名誉教授)

「食べる力を育む食支援」

平川 史子(別府大学食物栄養学科 准教授)

10:50 一般講演 1

座長：新垣 敬一(沖縄県立中部病院 歯科口腔外科部長)

1 家族性歯肉線維腫症が疑われた1例

○碓 竜也、堀之内 康文、新田 秀一、吉住 潤子
公立学校共済組合九州中央病院 歯科口腔外科

2 含歯性嚢胞内の右下第二大臼歯を摘出後自家移植した一例

○芳地 祐梨、大林 由美子、中井 史、岩崎 昭憲、小川 尊明、三宅 実
香川大学医学部歯科口腔外科学講座

3 沖縄県立宮古病院における過去10年間の顔面外傷に関する臨床検討

○立津 政晴¹⁾、新垣 敬一²⁾、仲間 錠嗣¹⁾、比嘉 努³⁾、上田 剛生²⁾、澤田 茂樹³⁾

- 1) 沖縄県立宮古病院 歯科口腔外科、2) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科、
3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

4 夜間救急歯科診療所において乳歯の完全脱臼の再植を行った1症例

○後藤 修一郎¹⁾³⁾、後藤 匡史²⁾、橋本 和幸³⁾

- 1) 九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野、2) ごとう歯科クリニック(蛍池)、
3) ごとう歯科クリニック(鶴見)

11:25 一般演題2

座長：廣瀬 知二(伊東歯科口腔病院 訪問診療部)

5 反対咬合の治療や永久歯の牽引を行った一例

○伊東 泰蔵¹⁾、川鍋 絹恵¹⁾、川鍋 仁²⁾

- 1) いたう歯科医院、2) 奥羽大学成長発育歯学講座歯科矯正学分野

6 歯根亀裂から破折に至った上顎中切歯の症例

○吉田 忠司¹⁾²⁾、早田 倫久³⁾、吉田 忠信⁴⁾、

- 1) 九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野、2) 吉田歯科医院、
3) 医療法人悠心会早田歯科医院、4) よしだ歯科

7 パノラマエックス線画像による口蓋扁桃結石の検出に関する臨床的研究

○森本 泰宏、小田 昌史

- 九州歯科大学歯科放射線学分野

8 幼若永久歯象牙質に対する接着性

○鶴田 靖¹⁾、入江 正郎²⁾

- 1) 別府市開業、2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体材料学分野

9 口唇・口蓋裂児の口腔筋機能の発達を促す取り組み

○牧 直美

- 大分岡病院 総合リハビリテーションセンター 言語聴覚士

12:15 ランチョン教育セミナー

座長：松本 吉洋(国立病院機構福岡病院 歯科長)

「当院における重症心身障害児(者)の口腔ケアについて」

原 徳美(国立病院機構 西別府病院スポーツ歯科・歯科衛生士)

座長：佐藤 俊彦（大分県言語聴覚士協会 副会長）

「摂食・嚥下障害のある子供たちへの対応 ～STの立場から～」

松尾 真弓（湯布院病院リハビリテーション科・大分県言語聴覚士会）

座長：上村 俊介（山口赤十字病院 歯科口腔外科部長）

中道 敦子（九州歯科大学歯学部口腔保健学科 口腔機能支援講座 教授）

「小児口腔の成長・発育を支援する多職種との協働」

1 多職種で進める子育て支援 ベロタッチ普及活動について

吉良 直子（熊本市中央区役所保健子ども課 課長補佐 歯科医師）

2 小児期の栄養管理の重要性 ～口腔問題を抱える小児をサポートする栄養管理

田崎 亮子（国家公務員共済組合連合会 新別府病院 管理栄養士）

3 小児の顎顔面および口腔の成長発育に関して ー矯正歯科の視点からー

藤井 昭仁（B&A 矯正歯科クリニック・歯科医師）

4 小児の顎骨嚢胞における開窓療法の有効性

石橋 浩晃、瀬上 夏樹（金沢医科大学顎口腔外科学講座・准教授、教授）

5 小児用薬剤の特徴について

山本 泰弘（ロイヤルグリーン薬局 管理薬剤師）

抄 録

大会長講演

基調講演

特別講演

教育講演

ランチョン教育セミナー

シンポジウム

一般演題

小児期の口腔アレルギー症候群について

黒川 英雄

別府口腔保健センター長

口腔アレルギー症候群 (oral allergy syndrome = OAS) は食物アレルギーの一種で、誘発食物が口腔咽頭などの粘膜に直接接触することにより生じる接触性蕁麻疹である。アレルギー症状が口腔咽頭粘膜に限局して発生し、素早く消退する。また、継続して口腔周囲の皮膚の蕁麻疹の出現、まれにはアナフィラキシーショックへと進展する場合もある。植物由来の食物 (生野菜、果物) 摂取時の口腔症状に限り、OAS として報告されることが多い。したがって動物由来の食物摂取時に発生する同様の症状は OAS とは呼ばれていない。

OAS のうち、花粉によって経気道的に感作が成立し、花粉と交叉反応性がある果物や野菜の経口摂取によって発症する口腔アレルギー症候群を pollen-food allergy syndrome と限定して呼ぶようになった。特徴としては食物摂取後、15分以内に局所的あるいは全身的症状が出てくるとされている。局所的な症状としては、口腔、咽頭粘膜、口唇粘膜の掻痒感、ピリピリ感、浮腫性腫脹、喉頭浮腫、水様性鼻漏、結膜充血などである。

小児期の OAS の症状、原因、対処などについて紹介する。

略 歴

1979年	九州歯科大学卒業
1983年	九州歯科大学大学院 第2口腔外科学専攻 修了(歯学博士)
1988年	九州歯科大学口腔顎顔面外科学講座形態機能再建学分野 准教授
1991年	ドイツ連邦共和国 マールブルグ大学 客員臨床教授
1995年	ドイツ連邦共和国 マールブルグ大学 客員教授
2005年	宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 顎顔面口腔外科学分野 准教授
2007年	大分赤十字病院 歯科口腔外科 部長
2011年	別府口腔保健センター 口腔外科 センター長

役 職：日本口腔外科学会 指導医・専門医、日本癌治療学会 暫定教育医、日本外傷歯学会 指導医・専門医、日本小児口腔外科学会 指導医・専門医、日本口腔診断学会 指導医・専門医、西日本臨床小児口腔外科学会 副理事長・編集委員長、日本外傷歯学会 理事、西日本外傷歯学会 常任理事、日本口腔腫瘍学会 評議員、日本小児口腔外科学会 評議員、日本口腔ケア学会 評議員、九州・山口 口腔ケアシンポジウム 代表世話人、NPO 法人「オムスン」(口腔管理支援ネット) 代表理事

小児期の栄養管理の重要性 ～口腔問題を抱える小児をサポートする栄養管理

田崎 亮子

国家公務員共済組合連合会 新別府病院

成長発達途上にある小児においては、新生児から乳児、幼児期、学童期でエネルギー代謝が異なる。また、病態によってもエネルギー消費量は変化する。個々の症例に合わせたきめ細かい栄養管理が必要であり、適切なエネルギー量を投与することが、小児の発達・成長を維持し、免疫力が高まり疾患に対する治癒力にも繋がる。

健常児の摂取エネルギー量や必要栄養量の目安になるのは、厚生労働省が策定している『日本人の食事摂取基準 2015年版』である。経口摂取が可能な小児であれば、おおむねこの基準に基づいた食事管理ができる。

しかし、健常児における栄養必要量より疾患を有する小児の周術期や侵襲期ではエネルギー消費量は増えるため、成長・発達を含めた詳細な栄養アセスメントを定期的に行う必要がある。

また、周術期には一時的に経腸栄養管理も必要であり、咀嚼・嚥下機能の評価、訓練も行いながら多職種で経口栄養管理へと導く事が必要となる。

略 歴

1984年3月	熊本県立熊本女子大学食物栄養学科 卒業
1984年4月	国家公務員共済組合連合会 新別府病院 栄養科 入職
1989年4月	同 栄養科係長
1995年4月	同 栄養管理室長
2010年4月	同 栄養管理室長(兼)栄養サポート室長
2014年4月	同 栄養管理室長(兼)栄養サポート室長 同 (兼)別府大学非常勤講師

所属学会：日本静脈経腸栄養学会(代議員)、日本病態栄養学会、日本医療マネジメント学会

取得認定：NST 専門療法士、病態栄養専門師、日本糖尿病療養指導士、大分県糖尿病療養指導士

その他：「NutritionCare」メディカ出版 2008年創刊号より編集委員を担当
その他、栄養関連雑誌の特集の編集や執筆などを担当

小児の顎顔面および口腔の成長発育に関して — 矯正歯科の視点から —

藤井 昭仁

B&A 矯正歯科クリニック

小児の不正咬合への対応は、矯正歯科医によって異なり、介入の時期や方法も異なります。不正咬合の原因となる顎顔面および口腔の形態的、機能的な問題の多くは、成長発育の過程で生じる事が知られています。扁桃肥大やアデノイドに起因する口呼吸、それに伴う舌位の異常、姿勢が悪い、うつぶせ寝、頬杖、口腔周囲の習癖などが、顎顔面や口腔の正常な成長発育を妨げることもよく知られています。これらを早期に発見し、適切な時期に介入することで、正常な顎顔面および口腔の成長発育を獲得することが可能となります。

しかしながら、小児の成長発育の様相を把握し、適切な処置や指導を行うことで正常な成長発育を妨げる要因を排除する、この時期や方法についての具体的なガイドラインは未だ確立されていません。

そこで今回は、顎顔面および口腔、筋機能の成長発育の様相、その過程で生じる問題を把握・改善するためのポイントをお話させていただきます。

略 歴

2002年	九州歯科大学卒業
2006年	岡山大学医歯薬学総合研究科顎顔面口腔矯正顎分野修了
2009年	岡山大学医歯薬学総合研究科顎顔面口腔矯正顎分野退職 鳥取県米子市 ワイエィデンタルクリニック（矯正歯科部門）
2012年	B&A 矯正歯科クリニック

歯学博士

日本矯正歯科学会認定医

小児用薬剤の特徴について

山本 泰弘

ロイヤルグリーン薬局 管理薬剤師

現在、小児歯科領域で適応が認められている薬剤は限られており、決して選択肢が多いわけではない。しかも、その中から治療に最適な薬剤を選択したとしても、小児に服薬拒否されては元も子もない。投薬で考えないといけないことは、効能・効果ももちろん大切だが、「飲みやすさ」また「飲ませやすさ」を考慮することも重要である。

薬を飲めない主な理由としては、「苦味」「味」「におい」「ざらつき感」「薬の量」などが原因となる場合が多いので、それぞれの薬剤の特徴や飲みやすくするための工夫などを紹介したいと思う。

略 歴

平成8年 第一薬科大学薬剤科卒業
平成10年 有限会社古戦場薬局に勤務
平成23年 株式会社グリーン薬局を開設
平成25年 株式会社ロイヤル
ロイヤルグリーン薬局管理薬剤師に就任、現在に至る

一般演題 1

1

家族性歯肉線維腫症が疑われた 1例

○碓 竜也、堀之内 康文、新田 秀一、
吉住 潤子

公立学校共済組合九州中央病院 歯科口腔外科

歯肉増殖症は、歯肉が炎症性または非炎症性に増殖する疾患の総称であり、発症部位が限定される歯肉増殖症は口呼吸や歯周疾患が原因となることが多く、広範囲の歯肉増殖症は、薬物による副作用や歯肉線維腫症が含まれる。

今回われわれは、家族性歯肉線維腫症が疑われた1例を経験したので報告する。患者は13歳男児。上下顎前歯部永久歯の萌出に伴い歯肉の増大を認めていた。母親は17歳時に上顎前歯部の歯肉切除術を受けており、兄と双子の妹も上下顎前歯部歯肉の増大を認めた。発症部位が限局し炎症性の発赤や口呼吸を認めたことから限局型の歯肉増殖症とも考えられたが、家族歴やプラークコントロール後も症状に変化を認めなかったことなどから、限局型の家族性歯肉線維腫症疑いと診断した。術前口腔衛生指導を徹底した後、局所麻酔下に歯肉切除術を施行した。再発を生じやすいとも報告されており、現在も術後口腔ケアを徹底しながら経過観察中である。

2

含歯性嚢胞内の右下第二大臼歯を 摘出後自家移植した一例

○芳地 祐梨、大林 由美子、中井 史、
岩崎 昭憲、小川 尊明、三宅 実

香川大学医学部歯科口腔外科学講座

歯の移植は自家移植が一般的に行われており、歯根未完成歯の移植が最も多い。今回我々は、水平埋伏している右下7の抜歯と含歯性嚢胞摘出を行い、右下7を再植して良好な経過を得られた一例を経験したので報告する。

患者は、13歳の女児で、平成27年11月に右下顎臼歯部の違和感を主訴に近医を受診した。パノラマエックス線写真にて水平埋伏した右下7の歯冠を含んだ透過像が認められ、平成27年1月に当科を紹介され受診した。

CTにて、水平埋伏した右下7の歯冠周囲に15×11×10mm大の嚢胞様病変と、遠心に右下8の歯胚を認めた。平成27年3月、全身麻酔下で嚢胞摘出術、右下78抜歯術、右下7の自家移植術を行った。右下4から7までを1mmワイヤーでエナメルボンディングシステムにより暫間固定を行った。病理組織検査の結果は、含歯性嚢胞であった。平成27年6月、暫間固定を除去した。現在術後5ヶ月、再発や右下7の動揺はなく経過良好である。

第26回西日本臨床小児口腔外科学会総会・学術大会
プログラム・抄録集

大会長：黒川 英雄

事務局：別府口腔保健センター

〒874-0931 大分県別府市西野口町15-33

TEL：0977-21-5657 FAX：0977-21-5678

E-mail：kurohide-ohc@ctb.ne.jp

出版：（株）セカンド
 株式会社セカンド
学会リポート <http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025